

2026年4月1日

(株)IHI 回転機械SBU長
(株)IHI回転機械エンジニアリング社長
森川 圭一

2026年度 回転機械 SBU 安全衛生・ウェルビーイング重点方針・施策

2026年度IHIグループ安全衛生・健康管理重点方針に基づき、回転機械 SBU 安全衛生方針の実現に向けて『リスクアセスメント』、『安全五原則』の定着と OHSMS(労働安全衛生マネジメントシステム)の運用による安全管理体制の整備と管理レベルの質的向上を推進し、「災害ゼロ」を実現する。

【安全衛生方針】

- ・全ての職場で「安全五原則」を実践し、安全を最優先とする行動の徹底を図ることにより安心して働くことができる職場を実現します。
- ・経営幹部主導による労働安全衛生マネジメントシステムの運用と働く人、一人ひとりの安全衛生意識および危険感受性の向上を図ります。
- ・各種作業工程に存在する危険源の持つエネルギーの大小に着目したリスクアセスメントの強化に取り組み、労働災害を撲滅します。
- ・安全衛生に関する法令、規程、ルールを遵守し、その徹底を図ります。
- ・健康経営の考え方にに基づき、心身ともに健康で生き活きと働くことのできる職場の実現を目指します。

【管理目標】

・安全衛生管理

危険源レベル A・B の災害発生 ゼロ

(危険源レベル A・B のリスク認識 100%を目指す)

・ウェルビーイング推進

エンゲージメントサーベイ 活躍社員の割合 33% (2025年度 +1%)

※KGI 『活躍社員割合 2030年度 35%』の前倒し達成を狙う！！

※上記は IRM の管理目標を示す。関係会社は個社で設定のこと。

1. 安全衛生管理重点課題・施策

<安全衛生マネジメントシステム(OHSMS)の強化>

(1)リスクアセスメントの定常運用

- ① 経営幹部の関与によるリスクアセスメントの運用の確認・是正
- ② 管理責任者主導によるリスク管理表の網羅性確認および対策の有効性検証

※管理責任者:工場長、建設部長、事業所長

(2)危険源レベル A・B への本質的対策の実施

- ① 関係部門が一体となった対策の検討・実施

(3)リスクアセスメントと連携した職場安全作業基準の整備

- ① 危険源レベル A・B(重量物、回転体、伸縮上下運動等)に関する作業手順書の整備

(4)製品・設備の安全機能の再確認と高度化に向けた更なる対策の実施

- ① 危険源レベル A・B を有する設備の安全機能の再確認および対策の実施(設備計画への反映等)

＜一人ひとりの安全行動の強化＞

(1)安全五原則の定着と人財育成

- ① 安全五原則の再教育および具体的行動の明確化
- ② 力量評価(安全の項目含む)による本人・上司の相互認識

(2)不安全行動をしない・させない、5Sを重んじる職場風土の醸成

- ① 危険源と関わる行動に着目した対話型パトロールの実施(対話型危険源パトロール)
- ② 安全ハンドブックの周知・活用の徹底

2. ウェルビーイング重点方針・施策

重点施策

一人ひとりの活力向上につながる習慣づくりの推進と働く喜びが得られる職場づくりを推進する

＜健康経営スローガン＞

～従業員が元気だと会社が元気！一人ひとりが活躍し、社会に貢献できる企業へ～

(1)個人の健康増進

「仕事での活躍」と「より良い人生」(ウェルビーイング)につながる習慣づくりの推進

- ① セルフケア教育
- ② 健康イベントを通じた情報提供、体験機会の創出
- ③ 禁煙支援とニーズの把握

(2)組織の活性化

働く喜びが得られる職場づくり

- ① 対話型コミュニケーションの推進(マネジメント支援、対話力向上支援)
- ② エンゲージメントサーベイ、健康度調査等の活用
- ③ 職場コミュニケーション促進イベント実施以上

(3)健康支援体制の整備

- ① 職場復帰への手引きの見直しと活用(治療と仕事の両立支援を含む)
- ② 環境変化に対する適応支援

以上